

安全マネジメントレビュー 一年間報告

2015年度安全目標

安全方針
安全スローガン
安全目標
2015年度目標

2015年度本社制定に準ずる
「安全作業・安全運転は、お客様の幸せ、我々の喜び」
「指さし呼称の徹底で ヒューマンエラーの撲滅」
「接触事故 ゼロ」

2015年度活動方針と結果

1. 基本方針

- (1) 安全マネジメントの維持と発展的運用
- (2) 車庫事務員と乗務員個人レベルの「安全意識」醸成

2. 重点実施事項

(1) 安全マネジメント活動内容の充実

- ① マネジメントの適用範囲の内部監査は全箇所実施。・・・実施済
・自社…重大な不適合2件、改善の機会8件、観察事項3件の合計13件、ストロークポイントについては、期限管理の必要なものが同一フォーマットで各営業所ともバリエーション管理を行い、定着がみられた。
千葉営業所の協力会社に対する教育、力量確認の記録の漏れ、及び自社の書類管理に不備が見つかった。(千葉営業所は安全管理部と是正処置実施中)
・協力会社…重大な不適合6件、軽微な不適合4件、改善の機会15件、観察事項7件の合計32件、今回はハル市原営業所開設に伴う書類の不備もみられた。また、実施事項の記録の不備も多かった。
- ② トラック関係のマネジメントの充実化および監査の実施。・・・実施済
重大な不適合3件、軽微な不適合3件、改善の機会11件の合計17件、期限の管理の必要なものの管理が出来ていなかった。また、危険物取扱者の保安講習の受講推進、資料整理、乗務員への教育指導に関して、本社、営業所の指導と協力が必要である。
- ③本年度、JIS石油マーケティング(株)安全マネジメント集中教育に参加し、安全2名、磯子1名、千葉1名、石橋1名が内部監査員の研修を修了した。

(2) エコドライブの実施、15年度は、2%の燃費アップで700万の経済効果を・・・結果0.3%の向上

- ① エコドライブに関しての説明を各営業所ごとに実施・・・外部エコドライブ研修参加。一部営業所対応出来ず。
- ② 乗務員自身に毎日の燃費確認をさせる。(PC入力)・・・意識付けは出来た。来期はキャンペーン推進。
- ③ 乗務員研修会で詳細説明を実施・・・ヨハマタイヤ様にて空気圧の重要性について講義実施。

(3) 車庫連絡会議 (月間安全推進事項)

- ① 月1回の車庫連絡会議を実施し「月間安全推進事項」の実施方法の検討及び展開。・・・実施済。
- ② 安全運転・安全作業の活動を展開する中で、乗務員・車庫事務員への安全意識の刷り込みを行う。
・今年度8月より活動目標を1つに絞り集約させ、安全意識を集中させることで実施。
- ③ 車庫連絡会議にて、車両管理方法の検討。(最小人数での車両管理)・・・実施出来ず。

(4) 教育関係

- ① 車庫事務員研修会を実施・・・総務部・安全管理部にて実施。・・・実施出来ず来期に持ち越し。
ア、通報訓練およびエコドライブの実施方法等
- ② 乗務員特別研修会・3日間(マイスター制度の一環)・・・10/14,15 2日間で実施済。
(JX様講義、積込パトロール、安全運転研修、東邦車両研修・見学実施)
- ③ 乗務員研修会の実施・・・全乗務員対象(協力会社含む)・・・実施済。
ア、外部講師・・・ヨハマタイヤ、DVDによる危険予知訓練等 ッ、ADによる指差呼称指導
- ④ 潤滑油乗務員研修会(本間運送)・・・9/26 東西OT川崎にて業務グループと合同で実施済。
- ⑤ 季節乗務員は、現地にて研修会を実施および赴任時に再度実施。・・・9/10山形で実施、赴任時実施済。

(5) グループ活動の充実化

- ① 各営業所にて、積込・荷卸・走行チェック表の結果に基づき重点的に指導し、底上げを図る。
(アドバイザーパトロールにて特定の乗務員の指摘が多かった。来期は重点チェック対象とする)
- ② マスターの認定とその活動・・・乗務員特別研修を実施済。
- ③ エコドライブの燃費向上の評価・・・各営業所意識付けは出来ている。磯子は3号軽油のラック待ちでマイスター。

(6) 訓練の実施

- ① 荷卸訓練を各営業所にて実施し、各地区代表者によるコンテストを磯子営業所にて実施予定。
(実施出来ず。今年度は見送り)
- ② 後退訓練は各営業所にて企画・実施のこと。・・・一部営業所で全員の実施は出来ず。
- ③ 安全グループは、随時上記訓練に参加すること。・・・今年度は参加見送り。

(7) 事故トラブル

- ① 自動車事故報告規則第二条に規程する重大事故目標は、0件とする。・・・達成。
- ② 重大事故(混油・漏油・溢油・誤配送・追突・人身等)は、0件とする。・・・未達成。
ア、作業事故・・・前年対比50%削減・・・未達成。
イ、交通事故・・・前年対比50%削減・・・未達成。
ウ、積込作業においては、指差呼称の徹底を図り、トラブル0とする。・・・未達成。
(積込アーム破損、ATF漏洩)

(8) Gマークおよびグリーン経営認証

- ① 所員および乗務員に積極的に各種エコドライブ講習に参加させ自意識の向上を図る。・・・実施済。
(磯子1名、千葉2名、石橋1名)
- ② 燃費・オイル等の記録を残し、Gマークおよびグリーン経営の維持発展に努める。グリーン経営継続、Gマーク更新済

(9) 協力会社への指導

- ① 安全管理部は、各営業所が協力会社を管理する中、積極的に協力会社の安全会議に参画し、本社及び営業所の指導内容が周知徹底されているか確認し、フォローアップし、事故の未然防止を図る。
地区会議に参加。(今年度、石橋、竜王強化)
- ② 各営業所が傘下の協力会社の監査を安全管理部と一緒に実施、管理状況を把握、確認し事故の未然防止を図る。(監査項目の見直し、車両管理・乗務員管理)・・・実施中。
- ③ 潤滑油ローリー、混油・誤配送の撲滅、ホソガ 荷卸チェックおよび添乗教育の実施で滴下油防止を図る。
(添乗教育件数は少ないが、協力会社社長が率先し指差呼称教育を実施中)
- ④ トラック、集荷表の活用で誤配送防止対策とする。・・・月毎の安全推進事項を実施したが、未達成。

(10) 委託油槽所関係

- ① 委託油槽所の作業の見直し・・・業務監査の実施・・・市川(油)、甲府(油)実施済。

(11) チーフアドバイザーの活用

- ① グループ活動に於ける力量評価の悪い乗務員を対象としたパトロールを実施し、力量の底上げを図る。
(継続中)

2015年度事故件数

ローリー							トラック						
営業所名	誤配	設備破損	接触	追突	後退接触	計	会社名	誤卸・誤配	商品破損	漏油	交通事故	その他	総計
磯子営業所					1	1	石原運輸						0
千葉営業所	1			1		2	岩瀬運送	1	3	1		1	6
石橋営業所		1				1	楠原興運	1					1
神田運輸株			1			1	建立運輸	2			2		4
石原運輸株					1	1	平澤運送						0
計	1	1	1	1	2	6	総計	4	3	1	2	1	11

上期は重大事故となった積場の設備破損を惹起、下期は後退接触事故を、11月、12月と2件連続惹起した。原因は、慣れや焦りにより確認作業を省略したこと、また、後退接触事故については、上期に施行した下車確認の徹底の効果が薄れてきていると思われる。来期は、確認作業の徹底と、下車確認ルール制定から1年が経過することから、下車確認の更なる浸透が必要。また、年間目標として実施した「指差し呼称の徹底でヒューマンエラーの撲滅」については、乗務員研修会での意識の浸透を図った効果があったのか、作業事故は減少した。パトロールにおいても指差についての注意指導は減ってきており、来年度は呼称の推進を行い更なる事故削減を目指したい。

2016年度活動方針 (2016年4月1日～2017年3月31日)

安全方針 2016年度本社制定に準ずる
安全スローガン 「安全作業・安全運転は、お客様の幸せ、我々の喜び」
安全目標 「指さし呼称の徹底で ヒューマンエラーの撲滅」
2016年度目標 「接触事故 ゼロ」

1. 基本方針

- (1) 安全マネジメントの維持と発展的運用
- (2) 車庫事務員と乗務員個人レベルの「安全意識」醸成

2. 《重点実施事項》

- (1) 安全マネジメント活動内容の充実
 - ① マネジメントの適用範囲の内部監査は全箇所実施。
 - ② トラック関係のマネジメント監査の実施。
- (2) エコドライブの継続
 - ① CANデータの収集による燃費集計作業の簡素化及び活用。
 - ② 外部講習会(研修会)への乗務員の参加推進。
 - ③ エコドライブの燃費向上評価。
- (3) 車庫連絡会議(月間安全推進事項)
 - ① 月1回の車庫連絡会議を実施し「月間安全推進事項」の実施方法の検討及び展開。
 - ② 車庫連絡会議の伝達事項を展開する中で、乗務員・車庫事務員への安全意識の刷り込みを行う。
 - ③ 車庫連絡会議への所長代理、マネージャー参加によるNo2育成の推進。
- (4) 教育関係
 - ① 乗務員研修会の実施・・・全乗務員対象。(協力会社含む)
ア、外部講師・・・日野自動車、DVDによる危険予知訓練等、安全管理部からの指導
 - ② 季節乗務員は現地にて研修会及び赴任時に研修実施。
 - ③ 年間計画による国交省の指針に沿ったドライバーの安全教育指導。
- (5) グループ活動の充実化
 - ① 各営業所にて、積込・走行・荷卸チェック表の結果に基づき重点的に指導し、底上げを図る。
- (6) 訓練の実施
 - ① 後退訓練、荷卸訓練、通報訓練を各営業所にて、最繁忙期前に企画・実施。
- (7) Gマーク及びグリーン経営認証
 - ① 燃費・オイル等の記録を残し、Gマーク及びグリーン経営の維持発展に努める。
- (8) 協力会社への指導
 - ① 安全管理部は、各営業所が管理する協力会社の安全会議に参加し、本社及び営業所の指導内容が周知徹底されているか確認すると共にフォローアップし、事故の未然防止を図る。
 - ② 潤滑油ローリーは、漏油・混油・誤配送事故撲滅のため適時パトロールを行い事故防止を図る。
 - ③ トラックは集荷表の活用で誤配送防止、アオリ閉め忘れによる商品落下防止の教育を強化する。
(毎月の月間安全推進事項の継続)
- (9) 委託油槽所関係
 - ① 委託油槽所の業務監査の実施。
 - ② 委託油槽所業務安全会議への安全管理部の参加。
- (10) チーフアドバイザーの活用
 - ① グループ活動における、力量評価の低い乗務員を対象としたパトロールを実施し指導する。
- (11) その他
 - ① 自動車事故報告規則第二条に規程する重大事故目標は、0件とする。